

京子さんはみんなの謎でいみんな「を入れてゐるんですから、うつか『それはかりならい」ですけれど『鱗目にそんなことを言つて綴り 『さうですか……』 を辿り過ぎた……。が終 が彼はそんな

外務省縣會

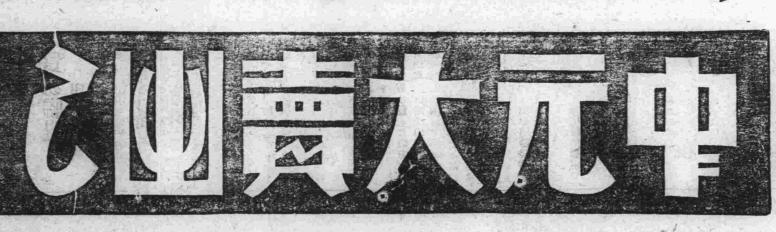
脚さんやらいろんな人達と、あんば から いっとのです から でんなことを言ふんです る 言へた義婦ではないちゃありませい。あの人の口からそんなことのつつ 方を向いて然つけがましく、ころなことをしてゐる際に、あたしの であたしが任愛でもしてゐるやう ん以口に回ばれてあたことを思ひ出のして、 

の造った。電子はいのでは、でつてしまぶと、遊其の裏から感覚してある場とい戦が的本態を 電子がその後を追ふやらにしてきら言ひながら、好性の心の吸内主性の部屋の方へ急いだった。 といび楽しょう はいしん といび楽しょう 楽屋 に近い暮れた

命英統在動 同 任國際聯盟帝國事務局事務 官

会使紹二等書記官 材

加熱念認籌改。店亦系奉



少に不拘「近江石山の螢」 進呈

町京中央通四八番地

泰天春日町八

長三八七三

五

本

商議成立後も

であるが工事其他一では市のの手で行はれ、建築完了後のであるから建築物は事智上市の所有に闘する際である 管理、修繕等も市日身でなす」 ものであるから建築物は事智上市の所有に闘する際である 行来までは利子を賃借料さして年利八分石風を年二回に分って支拂ひ、五年七月一日より同二十五年六月末日まで二一

解 藍 徹 ホ (II) つたわ、近域の比較にあると、何ちは合ったの一はこれを見るとき波すやらに含ふと、配子には支那の必要の抗態がよグリーンホテルに行くつて噂があたるところが、何とも言へず腔め 英一がぎくりとしながらさら動かしかつた。英一はこれを見るとき波すやらに言ふと、配子は減くひどく可憐に感じられて、思はずいいてから首を倒けて、ひどく可憐に感じられて、思はずいいてから首を倒けて、できるとき波すやらに言ふと、配子は減くなどの質に手を掛けながら、「えょ、さら言つてゐたんですけると言ったんです。どんな配いれど……あの爪镊の見ると、何ち

家畜屠殺場 一日より市公署

ことを言つたんです」
した。と、ことを言ったんです」
した。と、ことを言ったんです」
した。と、ことを言ったんです」
したるやうな問題で、おっと英一のつてるたのですか……とんなことを言いまれ、今度のあなたの意思での思慮しな笑ひ露が、すぐ耳の儀が思いか好をしてゐるでせう。とこ原子との疑い職像は知らなかつたといか好をしてゐるでせう。とこ原子との疑い職像は知らなかつたないけれど、さつきになつて急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになつて急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになつて急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになって急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになって急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになって急にかした事から、二人が知り合つてないけれど、さつきになって急にかした事から、二人が知り合って居た。

定 假 一 就 全三台 第 税 二個月 全八十倍 第 稅 二個月 全十五時 新京永期的四丁月一聯結 全部三二二五冊·马三〇〇曾 股行所 十 河 荣 忠 明朝人 谷 啓二郎

玉を碎。

雜無斷上映上演

お買上金 一圓毎に

呈

正福引券進

賣出期間中に 夕刻より御來店の方には御買上の多 比明二明「螢の夕」

したが、日本士官學校出身工であます』を好く記者を引見 で寛ぎ「皆友人知己を訪問し

の來連は會闘さ云

し義勇軍の處置について き義勇軍代表参加を協力否認

の間違ひであらう

義勇軍中より有力都隊を改

擔當の警備隊でし李際春。

雷舞榮只一人歸り、浴衣がけ時ホテルを訪ねるさ首席格の時ホテルを訪ねるさ首席格の時ホテルを訪ねるさ首席格の

## 合義勇軍 警察隊に改編には支那側反對 連會商

一切秘密とされ、察知するを得ないが、義勇軍を警察隊に改編することに就て義勇軍問題の下打合せの大連會商が開かれることゝなった、會議塲所等は未だは本日着連、明朝岡村参謀副長の來連を俟つて、今朝來連の喜多大佐を加へ、(大連一日發國通) 李際春、石及三等義勇軍處置問題に對する支那側委員一行 は支那側委員は旣に反對を仄めかして居り會議の成行は注目されてゐる

會議場所は未定

其原域は政治的、経濟的、其原域は政治的、経濟的、基本の質、事業の擴張が表示を対しておくには、場段をが事業の方面に供給出來をが事業の方面に供給出來をしない方が良い、経濟的、経濟的、

から、引きけになり、金融 界のインフレーションの弊 男のインフレーションの弊 男のインフレーションの弊 書を現はす事はなくなつた 長期の資金も餘程潤澤にな 力下けに引着いて利下けを 行ふか、何うかは我輩の口 から云へないが、政府は低 から云へないが、政府は低

が除つて事業がない状態だ現在は事業に投資する資金

あればやつても良いと思ふの影響を來たさないものが

から、引下げになり、企連銀行の預金利子は愈々本日

## 改編不賛成の意を 支那委員

日三月七年八和昭

遼東ホテル で記者と語る

での天津よりの報道は何か の天津よりの報道は何か の天津よりの報道は何か 石友三等を警備隊長さしては何うからの説があるがさの記者の質問に對したれは具合が悪い、義勇軍は仕事が嫌いな連中が多いがら一番良い解決方法は解散金を出して解散させるこ き義勇軍にケチをつけ

核心に觸れずして散音した

制的に唱はしめつつある「天津」日麓図碑)天津支那街大胡同江東茂記書局は上海兒 新聞記者は頭が良いか6交 中小學校生徒に 强制的に排出 歌を唱はしむ

さ愛僧を言つて記者を脳り立ないで下さい 多の障害になるこさは書か

省政府大禮堂で

(大津一日長朝運) 機東戦區 大橋堂に於て于學忠委員長の 許に正式成立を見たが委員會 は、交渉委員の一部分が大連 に赴いてほる為め極く簡單に に赴いてほる為め極く簡単に

**欒東戰區接** 收委員會

我國は不參

輸出國に非ずミの理由で

外務省代表部へ

訓電

印度政府は最近転税引上け 係約慶楽を適等し來り、これた、今回の措置は右の階 間に反省を促したので、今 目の事態は兩域の友好を持 で、今回の措置は右の措 とここを困難さ信ずるが この際印度政府は日本品に この際印度政府は日本品に

つた。

水上署員應援

しなかつた

内消費に限6れて居り参加

業聯盟曾等の同様申込も担い最近プラフセルの國際糖

る様動説したし

川元班島引卒の下に三十日中東水上警察の先韓隊約十名は、東水上警察の先韓隊約十名は、「安東發」「採木公司の佐頼に

総する筈であるさ が到着後は分署派遣総員さ合 後五時安東出鏡現地に向つた

省では左の見地より参加ぜず代表部より講訓し來たが外務情減産案の生産制限に騙し我情減産案の生産制限に騙し我

日支事變陸軍戰死者 さ省議決定し直ちに回訓を**愛**した した ・・ 千九百三十一年のブラジー、千九百三十一年のブラジ

戦死の如し れの如し を 準士官以下四十名 社會事業聯合會

支那駐屯軍 千 

たので一行は昨日保定を引揚をので一行は昨日保定を調願しなので一行は昨日保定を調願しいまいます。

平 漢線で 歸還した

聞

軍の積極的援助を與へることので軍司令官は右開通に日本ので軍司令官は右開通に日本の援助を懇願したので軍司令官は右開通に日本ので軍司令官を訪問、北寧線中村軍司令官を訪問、北寧線

子宣傳隊

保定より引揚ぐ

を呈して來た

兩國兵を乘せ

一列車運行

二十五名は目下保定に駐在し

風邪のなほつた歳相

財界問題縱橫談

通

り、事變さ共に、不通さなき列車の運行をすることと

上した中央艦部の女子宣傳隊下旬非常な意氣込みを以て北下旬非常な意氣込みを以て北

たので、日より官邸に出掛けは風邪のは、去る二十六日以は風邪のは、去る二十六日以は風邪のは、去る二十六日以

質けする事に決めた母では 質につきたの如く語つた 関につきたの如く語つた

は全く舊態に

日

云はで訪問で云ふ程度だ。 A程の大袈裟なものでなく

戦死合計二千五百一名 聯校四十二名 中士官以下六百一名 上海派遣軍

學士官以下四千八百九十將校二百四十三名 育合を經で後同會設立臨時會 別、關係者、市内有力者。日本側よりは微觀、憲兵除等より來賓多數來會盛大に舉行された。尚は同會成立は去ら111 納京特別市社會事業聯合會成 は一日午後一時よの城

一千五百

米)一齊に曼砲を開始。守備の後之を撃退したが、開財政約六十名、夜半襲撃の豫定で約六十名、夜半襲撃の豫定で約六十名、夜半襲撃の豫定でが、の後之を撃退したが、開財政が大きので目的を選びる。

藝酌婦の

現在日支事變陸軍戰死傷者數(東京一日鍾威通) 二十六日 支那駐屯軍 一名 校一名

上海派遣軍

邦人青年が

飛込み自殺

戦傷者は六千九百五十五名

計一千七百八名 聯校七十二名

調を開き會長、理事其他役員を選舉、市公署内に成立委員を設け氏政部より最近許可市長を推し、事務所は當分の間市及署内に設け新京特別市間市公署内に設け新京特別市社會事業の最達に邁進する事 立大曾學行

を決行し市中は大混亂を傷め二時突如市内戦車工人總念薬

(四)朝鮮人の定着を助長す 施せしむ

工人總怠業

人心安定さ市祝繁榮等を計る大心安定さ市祝繁榮等を計る

(五) 勞働者はなるべく農事 に轉せしむ、又その統制を 定着せしむ、又その統制を

民大會を開催し、或は檄をみ訴へ劉結の力を借り、或は市

の機能なら健康は顕州辺の高

置を闘す

に對しては取敢で應急的處

者に對しては職業紹介等に 大人)朝鮮人保護取締に闘す の指導にカりては自由營 を改善するこ共にそ の精導にカりては自力更生 の精神を演養し且思想義導 の精神を演養し且思想義導

に経典し以てその差別待遇を 自本と対え根性を有し一朝不 利益なるこさあらむか些々た る事實に於ても之を針小棒大

其他貯蓄心缺乏し遊惰性に富力の不當の優越感に依り触和であが中き傾向あるを以るが中き傾向あるを以るが中き傾向あるを以るが中を妨ぐるが中き傾向あるを以るが中である。

以て之を善導せざれば真の目共に思想の裏面的観察を行ひ共に思想の裏面的観察を行ひた。というない。

の裏面的觀察

良分子の宣傳煽動に乗り遂に不又一般に雷同性に富みばに不

恩思想に感染し易き通有性を

六十名の 安東だより

單に隣洲經略上より言ふる鮮 題解决の綱好時機たり、之を云ひ得ざるも亦一面朝鮮人間 人問題は決して等限に附す

プール開き

るこさ能はすその影響する處 版(内鮮に及ぶものにして各 方面人士の正常なる誤職ご指 等さにより真に我帝國臣氏た るの幸福を享受せしめた(希 世中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後七時四十分頃立 中世八日午後北京神部長以下十名は 東常部署に就いた際劇家河神 非常部署に就いた際劇家河神 手常部署に就いた際劇家河神 一三方より(附屬地より五百

・ 死体は木葉微塵に粉碎され惨・ 大らしく 章き犠牲! なる。おも何たる傷ましき Ò

◆長澤大佐(飛行第○○○陰 長)一日午後三時二十五分 來京 ◆小林少將(駐嫡海軍部司令 官)一日午後四時三十分奉 下へ 天へ 西水中佐(駐嫡海軍部別令 矢張り角カ道こそ日本の『技東京大相撲』、玉錦以下樂込む 事往來

青年があつた。同人は此の頃 代び込み自殺を遂けた内地人 で東襲」二十九日午後五時 で東襲」二十九日午後五時 黒い運動靴を穿いて居た、遺見られるが小倉黒語襟を着し 勧義州に入り込んだ浮浪者さ | 番師の險死に TEL 3873 「安東種」安東料理店では四五年前には毎月十一日を藝妓 の後殆ご有耶無耶こなり今日 に至つたこころ、一般で會の 状勢が藝的婦のみに会休日を し至ったこころ、一般で會の を提出した、向性 条休日は各 ののいよく 七月から復活せ しめ質行するこことなり安東 は一十日附右居 しるる よに乗らぬき怖いワ」 きおつ 北塚線開通に「あなたが」し 不贊の模様。自ら何時義勇軍の編に支那側委員 にならめきも限らわから 店に於す各自決する その日ノ 

支京新川森 7 番八〇八三話

昭和八年七月二日御禮申上候の本本のの際は御多代中期妻操儀告別式擧行の際は御多代中 吉 族川

を さる見られやう財界の では ないか、 さ見られやう財界の では ないか、 さ見てる のでは ないか、 さ見てる なるのも有るが、 政府さしては、 唯當前の四五ク月の では、 唯當前の四五ク月の 貿易聯盟 英綿製品 を目的さする統制案たる以 上我観は魯加の必要なし

□ 1 任々木少庄(同副官)间上 △河本理事(論職) □ 日午後七 時五十分來京 時五十分來京 二日午前九時兩行

体

拜 啓 共何分宜敷御願申上候 世代 本年吉野町に支店開業中は一 大ならぬ御愛顧を蒙り御蔭様 にて日々隆盛におもむき候段 にて日々隆盛におもむき候段 して獨立いたさせ申候間今後 大信を廢業し新に中央藥店と 大何分宜敷御願申上候就いては今回 共何分宜敷御願申上候就のでは今回 共何分宜敷御願申上候就のでは今回

(東京一日發劇通)在ロンド **廢棄せよご叫ぶ** 日印通商條約を 東印棉花協會の

ンタンスターに本部を有しランチエスターに本部を有しランチエスターに本部を有しランカシアーの綿切を一手に輪網を開発を観表し、 
一二十九日日本品さの競爭の英語総業に及ぼす影響に関する 関係を観表し 
一英殖民地市場を保護する場め

本職兄島師範生八十七名]日 李龍六時四十分來京同午後 李轉四十分兩行 李等四十分南行 李等四十分南行

告

三御宮笠願

町上候

宮崎竹藤

次 鄭 房

印棉不買抗議文に

紡績聯合會回答

管話三八六四番 電話三八六四番 電話三八六四番 電話三八六四番

文に對し、紡師では一日附け 花協會より我紡績聯合會に打 花協會より我紡績聯合會に打

t

通信會社株

公募割當協議

ブール開きを行ふこさになつ

でたの如き回答を醸した

三十日午後二時より協調を行職通信會社会募株割當の件に協通信會社会募株割當の件に 長靴 運動靴 卸小賣

館置版本洋行 電一〇四日

な薬屋は 新京古野町丁二目

一央藥店 (元 宮 崎 支 也

電話三三八一番

同郎

商

扇子、和洋食器、其他色々 化粧品、小間物、雞貨商 化粧品、小間物、雞貨商 新京百貨店元均一部

白樺板油繪

東東後311十九日午後一時 では、の如何に依つては變 では、の如何に依つては變 では、の如何に依つては變 では、の如何に依つては變

金徴收制度によって行はるべく。金徴収制度によって行はるべい。 重審議のうへ、最後の決裁を ・ こになるが、これを受けた本 ・ こになるが、これを受けた本 ・ こになるが、これを受けた本 全部は本社に回付された。ここ 此のほご漸く出來上り、書類く規則改正に着手中のこころ 地方事務所土地係ではいれることにならわけであ 飲馬河の被害者 数日中にいよく 告をなし一週間以内に受付を 開始するこミになるであらう が申受金は大体坪三圓程度の 模様でなは今回の貸下土地は 凡そ一萬五千坪、自六十余筆 に上る勘定だが多少時期が遅 れた關係上早急貸下けが行は れても本年中に全部の建築は に取掛るこさになるであるうつて來春解氷期を待つて新築

H E

月七年八和昭

周密な警戒に努めて居る壁の折抦今後火災皆無を財

でいる。全南死者一人流失家のに制羽せる被害は次の如くでに判羽せる被害は次の如くでに判別せる被害は次の如く である。なほ南鮮一帯は今の京に到着の新聞其他は、米等原に到着の新聞其他は、米等 初の女子スポーツの催 各方面の興味を唆つて

20

排球大會 滿洲國女子 開催 九日高女校庭で

で一人或は友人同志の旅行 紀上の問題を起し易いもの 考へで居る。特に夏挙は風

地に於ける選拔豫選を了へた地に於ける選拔豫選を一般に普及するさに共な子スポーラの大家化を圖るな子スポーラの大家化を圖るな子スポーラの大家化を圖るな子のでが、本大會は各 ムの選手権大會で建劇以來最 午前九時より新京高等女學校識洲或體育協會では來る九日 動に避け、必ず父兄が同行 。夜遊なご非常に危険で絶

素晴らし

電力使

川激增

所の擴張着手

役員さして御外

増加に耐應するため目下全力十%乃至四十%激者の見込み 更に八年から九年へかけて三なかつたものが六年から七年へかけて四十%乃全五十%。七年から八年へかけて四十%

關東軍でも

平時勤務に復歸す

土曜半休日曜全休制となる

上事塲警

備員に

では を進的に増加しこれが一手供 会進的に増加しこれが一手供 会進的に増加しこれが一手供 前五%乃至

は中である。は中である ピン酸電機三〇〇〇キロワッ 汽罐七一四馬カー台蒸汽ター 汽電セー四馬カー台蒸汽ター 八〇馬カ二台、蒸氣タービ 電機五〇〇〇キロワット あけて機械その他の段備機 九年度にお 寶は手に入つた富良のうちでに觸れるかも知れないけれご いでにもふ一人。ついでにない 一番若さうだから後週しにし



**私さ申します** 

の就職者激増

そ、さなつてゐる、この警備 疫助手五名、首都祭廳巡官五 地十六名、観道局三十名、防 で、カ強い在郷軍人の進出を員の就職率は九十パーセント ♪のか、小春治兵衛、三勝半 小稻さいふ名には半兵衛さい この永楽の小稲姐さんの半兵

のか寡聞にして存じません。

日

八月渡城七新京吉野町一丁

飯島英一氏方に!宿小間物

るが暗 島地消防除では今中水 一 り火三件其他八件さなつて居 草い吸殻三件。 樂物及び油類

七月一日から實施す 日曜日休日の制度を

時ごか三人組の强盗が押入り をしてるた。二十九日午後十 飲傷河に進出し禁制品の密管

海のギヤング

三名は逮捕す

殘る二名は目下嚴探中

商を答んでみたが一月ごろ

**競を競毛したものである。** 

共犯一名を逮捕した日下問署で犯人捜査中で既に

六月中の

新京火災統計

積み込む賃、大連に入港せん さしたものである。 商逃走し た四名の中、ベスターアン、 ・ と 選供中を小崗子署員に逮捕

日

の調査統計によれば確反び煙大回は城内である。尚有原因

東軍憲兵司令部では麻洲の治東軍憲兵司令部では麻洲の治東軍憲兵司令部では麻洲の治安・6科を安定の緒に就いたの安・6科を安定の緒に就いたのなり先づ従來休日無しの激移が悪いる平りに関するやうに

6八月末日迄の二ヶ月間を半明の慣いに從つて七月一日よ

の勤務を繰けて

在郷軍人聯台分會を通じて饗は殆ご總で在郷軍人で、紆京

夏休み中は

特に親御さんに注意

江部高女校長語る

本年は幸に十月に本校の十一世康、遊惰に流れ易いので

草温紀大名、南嶺三十名、南川川組十八名、京城土木七名では別にするご特殊明信部

確定した、場所は長春座、日浪界の巨顕吉田奈良丸が來演

警備兵の數は二百十三名。こ中に於ける同分曾紹介による 務員さなつて行くもので六月

吉田奈良丸

三日夜長春座で

絶好の日和に惠まれ

カツプ争奪

**公氣の波にもまれる** 

る大川撲

たべるのは存す、小稻姐さん

ます。踊りは日本の踊り。

は勿論ですが、その次に

小林カップ

は何れ

い觸太鼓が市中を廻つたので

なる時期にあるので平常頭り 6十二時迄き改めた。但し國

染界の殷盛により。 工事中態 最近の備州建設に伴ふ土木建 脱の襲撃に備へる警備員の語

三名、長谷川組十三名。

末四件、煤煙の飛火三件、煙突の不完全十一件、火の不始

新

京

十八萬二千七百八十三圓。 内降の累計三十一同に及び損害

入齋藤甚長氏

意なものは無路ださっです。 こころでこの小稲姐さんの様 のは第一か学兵衛さんである本無所であります。好きなも 清特最

酒等上 木醬白 炭油米 个 田

學研

\*\*\*

銀 行 連大店本 節の参田安田顧 (ロ) ( ロ) (ロ) (D) 御下命の節は御 は ( )すりか丸、 ) 665丸、 は6次人丸、 ばいかち丸は ( ) すりか丸、 ) 665丸、 は6次人丸、 ばいかち丸は ( ) 610丸、 とは ( )

## 朝 兵 隊 來京

森派へ

H

会頭に大事を取つても6ひ く外來者の多い時は一段の は意を拂つて戴かねば一生 取返しの付かぬ悲悩事を招 く事が往々あるから此點を

の遺骨故國へ句よの遺骨と駒田軍屬の遺骨故野で故千葉上等兵の遺骨と駒田軍屬の遺骨と駒田軍屬の遺骨と駒田軍屬の遺骨と駒田軍屬の遺骨故國へ句よ

發行左記各所宛七月二十三日ョリ九月四日迄無料配付致シ今回満州博覧會記念「満州國特輯號」ラ十萬部海上ニュースデアリマス海上ニュースデアリマス無聊ニ苦シム海上ニテ旅客ニ完全ニ讀破シテ賞と廣告價值無聊ニ苦シム海上ニテ旅客ニ完全ニ讀破シテ賞と廣告價值

料に譲る 詳細は後

開業 カフエー初音

須 布 先 本國紹介ニ御利用アラン事ラ御願致シマス 本國紹介ニ御利用アラン事ラ御願致シマス 出し) 廣告價値滿點ノ本紙ヲ利用サレ各位滿洲有名商店ノ日マス

一といネールの作りに満る さ野町二丁目六番地に今回カ

(イ)船

大阪商船大連線

の人氣を呼んでゐる やうな女給のサービス獨特の

2

でにな \*\*\*

舞踊と洋食

講 成 日 材格研 九時半

究 社

語語店 美 美 爪 顏

業廣告

ら有利に御利用を願ひます案内業を開業致しましたが新京案内所(旅行、地方)の 新京案內所

髮 フ y 中央領大阪屋號向橫町常盤町一丁日六番地ノニ ジャ美容室



歌三十七百七千三

三十圓。去る二十七日午前一 前後六回に亘り損害三萬五百

競火の吉野町四丁

ず目下嚴探中

奉天東陵前の 堰堤の竣工式

名の人夫さ七旬の日子を費し は三縣に亘る渾河、新 河山、十四萬元の工事費を以て二千 列肚臓狸に単行された(寫真を数萬の慶氏のため奉天省が 於て日端鮮人関係者三白名参いの一縣に亘 三十8年前十一時より同所に

、ヨ)

これより先朔日の夕刻勇まし 一更に を組合せこの勝者に小林海軍部司令官カップが授與されるので興味製がつてこの最後の優勝戦にあ ガブを二日目の優勝者は荒木通りで優勝者は栗原總領事カ

在6れ、好角家は一夜をあかすのがもごかじいやうに操ぎすのがもごかじいやうに操ぎが出来やう、因に初日のトーナメント戦の組合せは既報のナーナメント戦の組合せは既報のトーナメント戦の組合せば既報のトーナメント戦の組合せば既報のおいました。 中央放送局編輯

の主人や客引が自動車馬車人翻に出るご削當てられた旅館

〇〇ニュース(英

ラジオ博 **市中各理髪店、湯屋、勤** 用下サイ 限間日二。日四。日 演開時六後午日每 座 長 春

告

7

ワ。扇

斬新の闘案御印

入御好に應ず

妮調館

対人の事 | 村野子 | 対外の事 | 村野子 | 対人の事 | 村野子 | 対します | 対しまます | 対しまます | 対します | 対しまます | 対します | 対しまます | 対しまます | 対しまます

を持つるのであつた。

進物用品

明年度カレンダー新版月本出物注文は多年の信用き堅實な

※ました御

一報次第参

醞

語い人をが続れてある。 を建つたらしい。白い紫原の中で の様とのでは、白癬の変しで何か事が「

のる。與四郎は既つた儘、窓からが『與四郎牌、「寸谷って」と見いれを付けた樹やチラリと見いれるため、窓からのはないであれるが脚端に笑って座

食道幽

月)

特後から戦き込んだ、内臓のしざいます

門司

日

新

京

新

日

門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行 はるびん丸 七月 五日 (午前十時大連出版) はるびん丸 七月 九日 香 港 丸 七月 九日 ずりい丸 七月 九日

●切符發賣所 ・ 5 6 5 丸 七月十四日 ・ 1 日 中四日

6

印地 末 念 ひ 作 火

岡

診療受付 小內

兒

科科

正

午より午後三時ま

随時作診の間に應す

内科,小兄科

日三月六日一十月五閏第

心建先庚月宿 資午曜

●一件の人 誠意を認められ 意外の同情を得志望を達す 内を戻さ質が吉 一二点の人 温和を映ぎて反 感を招き他に擯斥せらる日 内を戻さ良か吉

●八白の人 厄病神に見舞に れぬ暖氣を揃へて励むが吉 丁で庚ミ士が吉 日的の成就する日病雨注意 成こ変ご癸が吉 ●三碧の人 豪慢の言語態度 未ご坤ミ申が吉 ● 行黄の人 人を傾りて悲劇 するより獨力にて奮起せよ 辛を癸さ艮が吉 六白の人 夕立に遇ふて念 無き如し用意周到なれば吉 大敗あり成行に任せ吉の人 間情我慢も過ぐ 物も逃がすが如し

電話三八三〇番 野 新京三笠町三丁目 野



東本願寺裏小路 瓦 賣 號

杏林堂醫院 機張膨物穀 儲早 小 在) 資 金本 ッ サ ケ來 九目了四町曙京新 (春〇五七三話電)

電話二五二〇番 堂脇サト子

藍 軒養精

法律顧問及鑑定 **計進士** 

一 照田實法律事務所 諸契約書の作成

五秒デ出水ル

アイスクリーム製造機 ボントン

ビール。サイダー等如何ナル飲料水ニテモ万秒デ凍ル

京 發賣所 洋 金 行

北嶺總代理店

洋 行 和 新京祝町二

うな ぎ蒲焼 すし竹食堂 権通電話二七二四番

